

がん患者サロン『ひだまり』

平成26年10月28日、当院は、奈良県から「奈良県がん診療連携支援病院」の指定を受けました。

「奈良県がん診療連携支援病院」とは、医療水準の向上と、安心かつ適切ながん治療を提供することを目的に、県独自の要件を満たした医療機関のことをいいます。これまでも、市民の病院として積極的にがん診療に携わってきましたが、今後、「奈良県がん診療連携支援病院」として、市民のがん医療のさらなる充実をめざします。

そこで、この度、がん患者サロン「ひだまり」を開設しました。がん患者サロンとは、がん患者さんとその家族などが主体となって、がんのことを含めたさまざまなことを気軽に語り合える交流の場です。

身体的・精神的な悩み、仕事や経済面における悩みを語るなど、対話を通して、がん患者さんや家族の皆さんの不安の緩和や、よりよく過ごすためのきっかけにつながれば、と考えています。

当院では、第1回目のがん患者サロンを5月11日に開催しました。6名のがん体験者が集まり、※ピア・サポーターを交えて、療養上の問題や心の悩みや不安、がんに関する情報などについて語り合いました。開設されたばかりで手探り状態ですが、少しでも多くの患者さんやその家族に、気軽に利用してもらえるような場を提供していきたいと思えます。

なお、当院に通院していないがん患者さんや家族の方も参加できます。ぜひ来てください。

※ ピア・サポーター〈peer（ピア）＝仲間〉とは、奈良県が実施した「がんピア・サポーター養成研修」を修了した、がん体験者の患者さんや家族のことです。

ピア・サポーターは、がん患者さんや家族の皆さんの療養上の問題や心の悩みなどに対し、自らの体験に基づく支援を行い、県内の患者サロンなどで活動しています。

◎がん患者サロン『ひだまり』

▽開催日 毎月第2月曜日 午後2時～4時 ※祝日にあたる月は、開催しません。

▽ところ 市立病院 1階患者図書室

▽対象 がん患者さんとその家族(当院に通院していない人の参加も可)

▽問合せ先 市立病院地域 医療連携センター医療福祉相談窓口 ☎53・7188

※費用無料、事前申込不要

〔地域医療連携センター 山本真由〕